

令和5年度 長崎県立長崎工業高等学校定時制 学校評価 職員アンケート結果

評価基準	4：十分達成されている。	3：おおむね達成されている。
	2：どちらかという達成されていない。	1：ほとんど達成されていない。

【学校経営における目標と具体的な項目】

目 標	具体的な項目	R5最終	R5中間	R4	R3	R2	R元
学校の実態に即した目標を設定し、教職員の共通理解のもとに、教育目標の具現化を図る。	前年度の成果と課題に基づき、生徒の実態を踏まえ適切な重点目標を設定する。	3.7	3.5	3.6	3.6	3.6	3.5
	校務分掌及び各科の経営方針に学校の教育目標を具現化する方策を盛り込んで実践する。	3.6	3.3	3.5	3.5	3.4	3.5
経営方針が学校内外に明確に示され、教職員間の相互理解と保護者・地域・雇用主の支持に基づく教育活動を行う。	学校のビジョンを検討し、教育活動を明確にする。	3.5	3.4	3.5	3.6	3.6	3.7
	各教職員が経営方針を意識して教育活動を展開する。	3.4	3.4	3.5	3.5	3.4	3.4
	教育目標や重点目標等を生徒・保護者・地域・雇用主等に説明、広報する。	3.4	3.2	3.3	3.5	3.3	3.3

【教育活動全般における目標と具体的な項目】

0

1. 教育課程の編成

0

目 標	具体的な項目	R5最終	R5中間	R4	R3	R2	R元
学習指導要領の趣旨を生かした特色ある教育課程を編成する。	学科や教科の教育目標の実現に向けて、特色ある教育課程を編成する。	3.6	3.5	3.6	3.6	3.6	3.4
	教育課程の実施に当たって、教育目標の達成状況を定期的に点検する。	3.3	3.2	3.3	3.3	3.3	3.2

2. 教科指導

目 標	具体的な項目	R5最終	R5中間	R4	R3	R2	R元
授業改善に努め、わかる授業を展開する。	基礎・基本の内容を重点化した指導を行い、基礎技術・基礎学力の習得の徹底を図る。	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6
	生徒の実態に応じて指導方法や授業形態を変える等の創意工夫に努める。	3.6	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7
	生徒一人一人をしっかりと把握し、個に応じた指導を行う。	3.7	3.6	3.8	3.6	3.6	3.7
	使用する教材や教具についての研究・研修を行う。	3.5	3.3	3.3	3.4	3.4	3.4
教職員の共通理解のもと適切な評価を行う。	担当教師間で評価規準を話し合い、共通理解のもとで評価を行う。	3.6	3.6	3.6	3.5	3.4	3.6
	観点別評価を行い、生徒の多面的な能力を評価する。	3.6	3.3	3.5	3.3	3.3	3.3
	評価はその後の授業にフィードバックし、指導と評価の一体化を図る。	3.4	3.2	3.3	3.2	3.3	3.3

【1 学 年】

目 標	具体的な項目	R5最終	R5中間
規律ある高校生活を目指し、高校生としての自覚を促す。	基本的な生活習慣を身につける。	3.3	3.0
	基礎学力の向上を図る。	3.4	3.2
	頭髪・服装を正し、言葉遣いをよくする。	3.2	3.4
	勤労体験を通して、社会性を身に付ける。	3.1	2.9

【2 学 年】

目 標	具体的な項目	R5最終	R5中間
希望する進路実現のために基礎学力と規範意識の向上を目指す。	授業を大切にし、基礎学力の向上を図る。	3.4	3.3
	挨拶を励行し、場にふさわしい言動ができるようにする。	3.1	3.2
	他者理解に努め、思いやりのある心を育む。	3.1	3.6
	アルバイト等への就業を促し、進路に対する意識を高める。	3.3	3.2

【3 学 年】

目 標	具体的な項目	R5最終	R5中間
多くの体験を通じて自分を知り、自己肯定感を高める。	他者との違いを認め、思いやりのある行動ができる。	3.7	3.6
	基礎学力の向上を図るとともに、各種資格を取得する。	3.5	3.6
	進路実現を意識し、正しい身なり・言葉遣いができるようになる。	3.3	3.4
	特別活動の意義を理解し、積極性を養う。	3.4	3.4

【4 学 年】

目 標	具体的な項目	R5最終	R5中間
最上級学年としての誇りと自覚のもと、希望する進路を実現する。	進路実現のため、基礎学力の向上と専門分野における技術・技能の習得を図る。	3.8	3.2
	時間を守り、その場にふさわしい身なり・言葉遣いができるようにする。	3.5	2.5
	最上級学年として、他学年の模範となるよう責任ある行動をとる。	3.7	2.6

【教務部】

目標	具体的な項目	R5最終	R5中間
生徒の学習意欲の向上と学校活性化に向けて、環境を整える。	教育環境を整え、生徒の学習意欲の高揚を図り、基礎学力の向上に努める。	3.7	3.4
	行事の精選により授業時数の確保に努める。	3.7	3.6
	全日制・分掌・学年・各科・保護者等との連絡調整を密にし、日常業務の円滑な運営に努める。	3.8	3.6
	教務部全員の業務内容と責任を明確にし、相互協力を図る。	3.5	3.5

【生徒指導部】

目標	具体的な項目	R5最終	R5中間
社会性に富んだ基本的な生活習慣の確立と秩序ある行動の実践を図る。	生徒指導の全職員が一体となってあたる。	3.4	3.4
	警察、その他の補助機関との連携を図る。	3.6	3.5
	基本的な生活習慣を確立をする。	3.1	3.1
	規範意識の向上	3.333	3.2

【相談部】

目標	具体的な項目	R5最終	R5中間
生徒一人一人の人権を尊重し生徒理解に努め、自己実現に向けての支援体制を整える。	各種調査や面談等を通じて深く生徒を理解し、生徒の自己実現を支援する。	3.7	3.6
	啓発教育の一環として人権教育の充実を図る。	3.7	3.3
	特別支援教育における校内支援体制の充実を図る。	3.7	3.2
	奨学金について保護者、生徒に周知徹底し、担任との連携を図る。	3.6	3.5

【進路指導部】

目標	具体的な項目	R5最終	R5中間
学習と勤労の両立を助け、将来有為な社会人となるための基礎を築く。	社会を生き抜く力を育成するための、キャリア教育の充実を図る。	3.5	3.4
	進路指導を充実し、生徒の希望にそった指導体制を図る。	3.6	3.4
	就職・進学に関する情報を効果的に提供する。	3.3	3.3
	在学中の就職（アルバイトを含む）において、情報を提供し、斡旋及び指導を行う。	3.1	3.1

【生徒会部】

目標	具体的な項目	R5最終	R5中間
生徒会行事や部活動の活性化に努め、生徒同士の連帯感や学校への所属意識を高める。	本校生徒の実態や特性に合った生徒会行事の企画	3.71	3.7
	部活動の活性化	3.05	2.8
	文化的活動の充実	3.48	3.3

【保健環境部】

目標	具体的な項目	R5最終	R5中間
健康の保持・増進を図ると共に、環境美化を推進する。	生徒の発育及び健康状態を正しく把握する。	3.7	3.7
	心身の健康教育を推進する。	3.6	3.6
	環境美化の意識向上を図る。	3.5	3.3
	生徒ロッカー使用の管理及び指導を徹底する。	3.3	3.2

【事務部】

目標	具体的な項目	R5最終	R5中間
安心・安全・快適な教育環境の充実に努める。	生徒が安心して過ごせる安全で機能的な教育環境の充実に努め、省エネルギー・省資源活動を推進する。	3.7	3.4
	あいさつ・マナー・思いやりを基本に、明るく丁寧で適切な対応を行い、学校内外の信頼を得る。	3.6	3.4
	対外的に説明できる効率的かつ適正な事務の執行に努める。	3.6	3.4

【工業技術科】

目標	具体的な項目	R5最終	R5中間
専門教育の基礎学力を身に付け、工業高校生としての意識を高める。	機械・電気分野における基礎学力の向上と充実を図る。	3.6	3.7
	ものづくりを通して技術・技能の向上を目指すとともに、安全に対する意識を身につける。	3.5	3.6
	各種国家試験・検定試験等に挑戦させ、資格取得を図り各人の能力を高める。	3.6	3.6

【建築科】

目標	具体的な項目	R5最終	R5中間
教育活動を通して、工業人としてふさわしい人間性を高める。	建築分野における基礎学力の向上と充実を図る。	3.6	3.7
	実験・実習・ものづくりを通して技術・技能を習得し、工業人としての資質を養う。	3.6	3.6
	資格取得等へ積極的に挑戦させ、各個人の能力や学習意欲を高める。	3.7	3.7